

会 議 録

会議の名称	第7期 3月期 小金井市地域自立支援協議会 合同部会
事務局	福祉保健部 自立生活支援課、小金井市障害者地域自立生活支援センター
開催日時	令和3年3月24日（水） 午前11時45分から午前12時
開催場所	本町暫定庁舎 第2会議室
出席者	<p>【委員】※各専門部会の部会長のみ 加瀬 進委員（会長、生涯発達支援部会部会長）、吉岡 博之委員（副会長、相談支援部会部会長）、武井 由紀子委員（社会参加・就労支援部会部会長）</p> <p>【事務局】 自立生活支援課障害福祉係長 自立生活支援課相談支援係長 自立生活支援課障害福祉係主査 自立生活支援課相談支援係主査 小金井市障害者地域自立生活支援センター</p>
会議内容	第7期 3月期 小金井市地域自立支援協議会 合同部会のおおりにあつて

第7期 3月期 小金井市地域自立支援協議会 合同部会 会議録

1 開会

(会長)

ただいまから自立支援協議会 合同部会を開催したいと思います。

2 部会からの報告

(1) 相談支援部会

来年度に向けての課題等を含め、どんなことをやっていこうかという話をしました。

その中で、地域生活支援拠点等事業と、にも包括等の話がでました。その中でも、地域生活支援拠点の整備に向けて、令和2年度に行った実績等を事務局から説明をいただきました。説明会としては、第1、2回は対面で行うような形で実施したのですが、第3回目は新型コロナウイルスの影響があり、文書送付による説明としたとのことでした。そこに伴う実施要綱も含めて、相談支援事業所にお送りをして、その文書を読んでいただいたうえで手上げをしてくださいという内容でしたが、情報発信の仕方等で相談支援事業所から不安とか、これでは手が上げられないというような話があったようです。

それについては、内容も含めて今後さらに皆様に意見を聞いていくような仕組みにしていきたいと思いますということになりました。それに伴い、相談支援事業所さんに実際に相談支援部会に来ていただいて、いろいろな声を聞くというような形にしていきたいと思いますということになりました。精神障がいにも対応した地域包括ケアシステムの構築についても、現状行われている会議を基本として、色んな協議体を進めていくということですので、随時、自立支援協議会のほうにも説明をし、内容を細かく構築していくという説明でした。

また、報酬改定等も行われる予定ですので、それについての説明等が、相談支援部会としてできれば良いかな、という希望的なお話もしました。

(2) 社会参加・就労支援部会

今後の活動の話し合いを行いました。前期からの引継ぎということで、商工会との連携の話が出ました。商工会と障害者福祉施設との連携というところで協議しました。コロナ禍で、今年度は物品販売や研修事業などの実施が難しい状況で、今できることはできているのかということで、商工会さんへ事業所の紹介ができるようなパンフレットを作ってはどうかという意見が以前にありました。それを踏まえ、事務局のほうから小金井市内の事業所のリストをいただき、それについてどのような形で作っていったらいいのか、というところ

を共有しました。その中で、就労だけにスポットを当てるのは、自立支援協議会の目的とは異なるのではないかということで、もう少し広く考えてネットワークづくり、社会資源の把握・開発というところを目的とし、どういった事業所を載せたらいいのかというところを検討しました。現状にある小金井市の資料として、「障がい者福祉のてびき」という小金井市のほうで発行しているもので、その都度、改訂していただいているものです。手引きと、平成28年2月に発行している「障がい児・者ふくしサービスマップ」というものを紹介していただきました。これを中心に小金井市の障害福祉の参考資料として確認しました。この内容について、こちららも福祉サービスマップの方が、市民の方にはわかりやすいということで内容を見ていましたが、こちらら平成28年に発行されているもので、かなり情報が古くなっている、というご指摘を受けまして、できればこちらの発行は、自立支援協議会と自立生活支援課のほうで作成したいと思うのですが、これは現状の内容を少し改訂し、これをベースに新しいものを作ってはどうかというところのご意見をいただき、案として出させていただきました。

それから、この手引きも内容を確認させていただいて、そのなかでサービス対象の情報が載っていなかった部分があるとのことで、そのような部分も追加で入れてもらったらいいのではないかと、というご意見もありました。

(3) 生涯発達支援部会

委員さんからいくつか出ている意見があって、合理的配慮の好事例集を作るということや来年度どうするかという意見がありましたが、これを前倒しで説明させていただきました。明日、差別解消委員会がありますので、その場でこの条例の見直しに着手することを検討する予定です。合理的配慮はやはり、差別解消法とセットのものなので、ワーキンググループを作って相談・就労・生涯発達の各部会から委員を出して、コアグループは人数少なめにして、三部会から出て、必要に応じて外部の人に参加してもらって意見を聞くということで、ワーキングでやったらどうかということでご了解いただいたので、生涯発達支援部会から、これを手放すこととなります。

もう一つは、保育所等訪問とか、ペアレントメンターとか、特別支援教育に関する課題というものを、検討する提案です。それを引き継ぎながら、詳しく取り上げませんが、「年齢ステージ別支援ニーズ」という資料があることを照会させていただきました。これはもう25年前になりますが、横浜障害児を守る連絡協議会が「年齢ステージ別支援ニーズ」という資料を作成しました。内容としては、3歳ごとにこんな支援があったらよかったな、こんな所があったらよかったなという項目が14個あり、これらの説明させていただきました。

この資料を何に使うかという、25年経って今、障害福祉の制度はちゃんとこれを解消しているかどうかを考えたいと思っています。解消していないのですが。

制度はあっても、特定の自治体、たとえば小金井市はどうなっているのかと見ていき、全体像の中でそれを位置づけたらよいのではないかという話をさせていただいて、ネットワークを作っていたときに、保育所等訪問だけ、ペアレントメンターだけ、学校だけだと、検討しながらネットワーク作りにならないということで、次の資料につながります。このカラー版のとても細かいのが、「バードアイ・チャート」という資料です。

横軸が子供と親御さんの出生から大人になるまでと。さらに学校、療育機関、それから居住、相談などの関連するのを並べて、これ縦でみると、例えば未就学の場合に関わってくるのは、保育所だけでなく、児童発達も、児童館も居住の問題も、いろんな相談センターも、それから医療機関も関わってくるので、こういうところがセットにして事例ベースで検討していった方が先ほどの25年前との比較対象も含め、それから委員さんから出てきた検討課題も整理できるのではという提案をさせていただきました。

結論から言うと、事例ベースの検討会をやる。来年度は専門部会が5回予定としてあるということなので、1回目は、工程表を作り、3回目はまとめということで、一つは、就学前の段階での子育て支援の課題。障がいとかどうかも含めてです。これは幼稚園それから児童発達。きりりさんだとかっていうところから事例というか、こんなことに困った、親御さんがこんな困り感があるという検討が一つ。もう1回は、やはり就学相談ですね。保幼小連携です。特別支援学校の小学部もそうですが、どの学校を選ぶのかで、ここでボタンの掛け違いがあると、その後もずっと引きずることになる。実はここに相談支援が絡むはずだと。そのことを基軸にしながら、ここについてはまだ誰にどう事例を出してもらおうかということが決まっていりませんが、事例ベースでその課題を検討しましょうと。これがもう1回です。今度は出口の問題で、特別支援学校高等部からは、社会参加・就労支援部会と絡むところの課題をちょうどいいので、委員さんのお子様の事例で検討しましょうということになりました。

5回ある来年度の1回目は、具体的に誰を呼び、誰がどんな事例を出すのかというのを、工程表を作り、2回目、3回目、4回目と子育て支援、就学、それから出口をやって、5回目にそれを踏まえながら、障害福祉計画の見直しをするというか、いろいろと揉みたいということなので、事例ベースの3回の検討会を含めて、障害福祉計画、あるいはそう小金井市の障害福祉サービスの検討をしながら、その過程の中で生涯発達支援部会として、初の事例検討の体制とネットワーク作りができればいいですねということで、基本的な合意を得た

というところですか。以上です。

部会について報告がありましたが、いかがでしょうか。ご質問等あればお願いします。

なければ事務局からの報告事項ということで、事務局お願いします。

3 報告事項

(事務局)

報告事項というところで、まだ出来上がってなくて申し訳ございません。第6期小金井市障害福祉計画です。今内容をもう少し綺麗にするために確認を入れています。

ちなみに、色は若草色で作成をし、出来次第、皆様へお配りする予定です。まず、お伝えさせていただきます。

(会長)

もうすぐ出来上がるということですね。事務局の方に今の件も含めて何かご質問等ありますか。

(相談支援部会長)

相談支援部会では元々、地域生活支援拠点等についていろいろ協議をしていますが、今に繋がっているという流れでしたが、今日も他の委員の方から質問が出ました。要綱等ができたときに、自立支援協議会等にご報告がなかったという部分があったので、少しそのへんで我々と乖離してしまったなと思いますので、地域生活支援拠点のことも、精神がいにも対応した地域包括ケアシステムの構築のこともですが、一応この自立支援協議会に少し相談をしていただくという基本姿勢は、守っていただきたいなと少し感じたところです。

(会長)

ありがとうございます。

(事務局)

先ほどご意見いただきまして、誠に申し訳ございませんでした。

以前、難病関係の手当を改正したときにご報告という形でさせていただいたという経緯もございますので、できる限り市の方でご報告できればと思います。

(会長)

そのほかいかがでしょうか。

<意見なし>

4 次回の開催日程等

(事務局)

次回ですが、令和3年度になります。5月に第一回開催を予定しています。会議室等は皆さんの予定を聞いて取りますので、4月に入ってからご連絡させていただきます。よろしくお願いいたします。

(会長)

日程調整はなかなか難しいと思いますが、生涯発達支援部会の方からは、幼稚園の先生の方から、午前中だと仕事があるので、平日はなかなか厳しいという意見が出ていました。申し添えておきます。よろしいでしょうか。

それでは以上をもちまして、合同部会を終わりたいと思います。ありがとうございました。